

2023年8月のDATASALAD 宿泊稼働指数

～2カ月連続で上昇 前年差は大都市・北日本で高い

2023年9月6日

公益財団法人九州経済調査協会 事業開発部

九経調 DATASALAD (<https://datasalad.jp/>) では、景気、産業、社会に関する政府統計に加え、人流や求人等のビッグデータ・オルタナティブデータを、地域の景気や産業の動向を分析する指標として加工、可視化している。

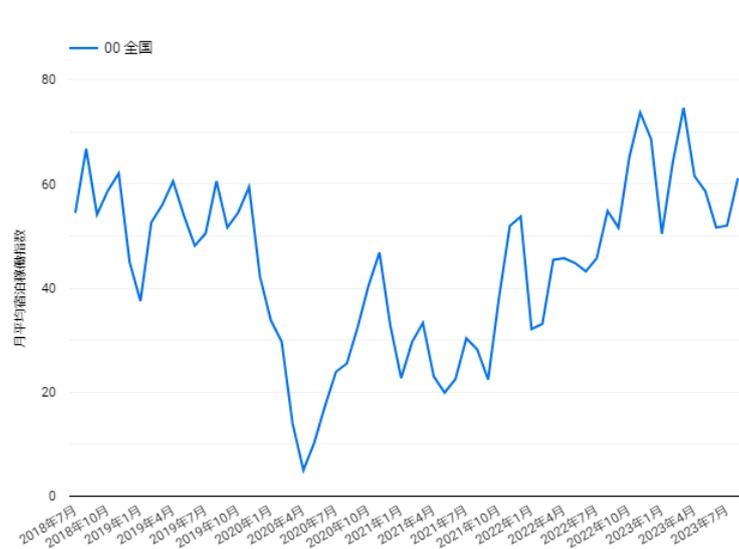
本稿では、当会が宿泊予約サイトより取得したデータをもとに算出している「宿泊稼働指数¹」を活用し、2023年8月における宿泊施設の稼働動向を分析する。

1. 全国の宿泊稼働指数：2カ月連続で上昇

2023年8月における全国の宿泊稼働指数は61.1で、前月の52.0を上回った（図1）。夏休みシーズンとなり、旅行需要が盛り上がったことから、2カ月連続のプラスとなった。

前年差は+6.3ptとなった。上昇幅は前月と同値で、22カ月連続のプラスとなった。また2019年8月の指数は60.5であり、2023年の8月はおよそコロナ前並みの水準となっている。

図1 宿泊稼働指数の推移（全国）



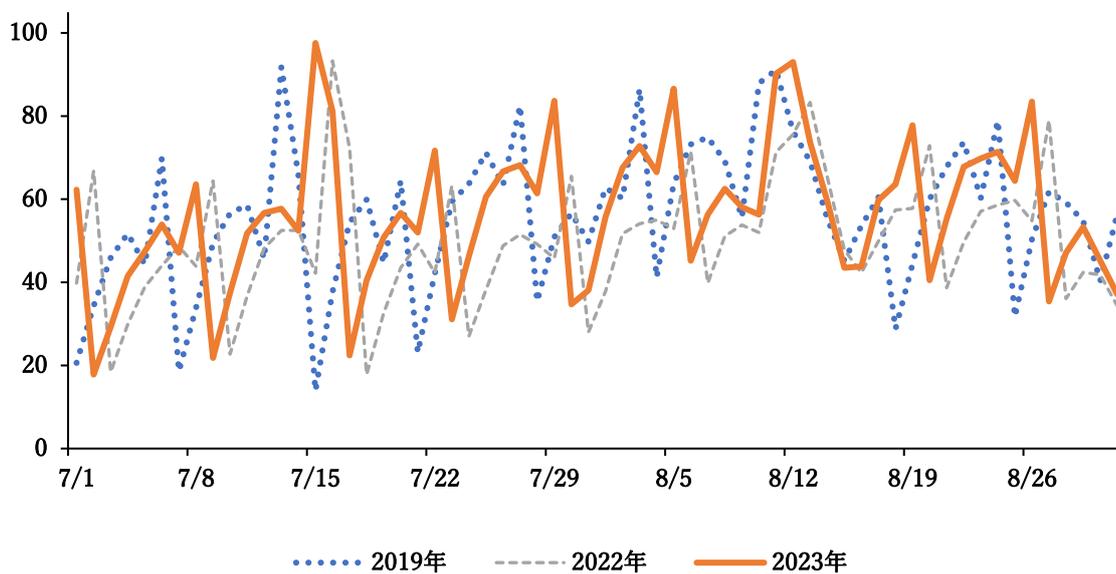
年月	地域	指数	前年差
1. 2023年8月	00 全国	61.1	6.3
2. 2023年7月	00 全国	52.0	6.3
3. 2023年6月	00 全国	51.6	8.4
4. 2023年5月	00 全国	58.6	13.8
5. 2023年4月	00 全国	61.5	15.8
6. 2023年3月	00 全国	74.6	29.2
7. 2023年2月	00 全国	64.1	31.0
8. 2023年1月	00 全国	50.4	18.3
9. 2022年12月	00 全国	68.6	14.9
10. 2022年11月	00 全国	73.7	21.8
11. 2022年10月	00 全国	65.1	27.1
12. 2022年9月	00 全国	51.6	29.2
13. 2022年8月	00 全国	54.8	26.6
14. 2022年7月	00 全国	45.7	15.4
15. 2022年6月	00 全国	43.2	20.7
16. 2022年5月	00 全国	44.8	24.9

注) 2023年9月5日時点の推計値 資料) 九経調 DATASALAD

¹ 宿泊稼働指数は日次の空室の水準を指数化したもので、九経調が独自に推計。原数値は0から100の間の数値をとり、稼働状況が良い場合は100に、稼働状況が悪い場合は0に近づく。算出方法は「参考資料」を参照
 なお、足下、従業員不足等の供給制約による稼働率低下が指摘されるなか、本指数が宿泊予約サイトの空室情報を基に算出している関係で、統計上の延べ宿泊者数・施設稼働率よりも上振れしている可能性に留意が必要である

図2は、2019年、2022年、2023年の7～8月における日別宿泊稼働指数の推移を示している。2023年の動きをみると、7月以降、概ね2019年と類似する推移が続くことが見て取れる。

図2 直近2カ月の日別宿泊稼働指数の推移（全国）



注) 原数値 2023年9月5日時点の推計値

資料) 九経調 DATASALAD

2. 地域ブロック別の宿泊稼働指数：10地域で前年差プラス

2023年8月の宿泊稼働指数を12の地域ブロック別にみると、北海道(78.8)で最も高く、以下甲信越(72.1)、東北(70.6)と続く(表1)。

前年との比較では、10地域で前年差がプラスになった。近畿(前年差+15.6pt)でプラス幅が最も大きく、以下北海道(同+12.8pt)、沖縄(同+9.8pt)と続く。

前月との比較では、前月著しく上昇した北海道を除く11地域で前月差プラスになり、北陸(前月差+19.0pt)や甲信越(同+16.5pt)、四国(同+15.5pt)でプラスが大きかった。なお九州は前月差+4.3ptで2カ月連続のプラスである。

表1 地域ブロック別宿泊稼働指数・前年差・前月差

	2022年 8月	2023年 7月	2023年		
			8月	前年差	前月差
全国	54.8	52.0	61.1	6.3	9.1
北海道	65.9	80.1	78.7	12.8	▲1.4
東北	69.4	57.1	70.6	1.2	13.5
北関東	68.3	51.0	61.0	▲7.3	10.0
南関東	51.6	50.8	54.5	2.9	3.7
甲信越	67.0	55.6	72.1	5.1	16.5
東海	55.8	46.4	57.7	1.9	11.3
北陸	51.1	39.5	58.5	7.4	19.0
近畿	35.5	42.6	51.1	15.6	8.5
中国	55.7	43.8	58.2	2.5	14.4
四国	72.7	46.4	61.9	▲10.8	15.5
九州	57.4	56.0	60.3	2.9	4.3
沖縄	48.7	56.5	58.5	9.8	2.0

注) 2023年9月5日時点の推計値 資料) 九経調 DATASALAD

表2 地域ブロック別宿泊稼働指数

< 指数順 >

< 前年差順 >

年月	地域	指数	前年差	年月	地域	指数	前年差
1. 2023年8月	CO01 北海道	78.7	12.8	1. 2023年8月	CO07 近畿	51.1	15.6
2. 2023年8月	CO04 甲信越	72.1	5.1	2. 2023年8月	CO01 北海道	78.7	12.8
3. 2023年8月	CO02 東北	70.6	1.2	3. 2023年8月	CO11 沖縄	58.5	9.8
4. 2023年8月	CO09 四国	61.9	-10.8	4. 2023年8月	CO06 北陸	58.5	7.4
5. 2023年8月	CO031 北関東	61.0	-7.3	5. 2023年8月	CO04 甲信越	72.1	5.1
6. 2023年8月	CO10 九州	60.3	2.9	6. 2023年8月	CO10 九州	60.3	2.9
7. 2023年8月	CO11 沖縄	58.5	9.8	7. 2023年8月	CO032 南関東	54.5	2.9
8. 2023年8月	CO06 北陸	58.5	7.4	8. 2023年8月	CO08 中国	58.2	2.5
9. 2023年8月	CO08 中国	58.2	2.5	9. 2023年8月	CO05 東海	57.7	1.9
10. 2023年8月	CO05 東海	57.7	1.9	10. 2023年8月	CO02 東北	70.6	1.2
11. 2023年8月	CO032 南関東	54.5	2.9	11. 2023年8月	CO031 北関東	61.0	-7.3
12. 2023年8月	CO07 近畿	51.1	15.6	12. 2023年8月	CO09 四国	61.9	-10.8

注) 2023年9月5日時点の推計値 資料) 九経調 DATASALAD

3. 都道府県別の宿泊稼働状況： 25 都道府県で前年差プラス

2023年8月の宿泊稼働指数を47都道府県別にみると、北海道（78.7）、青森県（78.6）や福井県（78.3）、などで高水準となった（表3）。

前年差は、25都道府県でプラスとなり、京都府（前年差+21.7pt）、大阪府（同+20.0pt）、島根県（同+19.6pt）などでプラス幅が大きくなった。なお、プラスとなった都道府県は北海道、東北、北陸、中国などの地域ブロックや大都市部（東京都、愛知県、大阪府、福岡県）などに集中している。イベントをはじめとした都市型観光の復活のほか、北海道・東北では猛暑が旅行先選択でプラスに働いた可能性も考えられる。一方、北関東や四国、九州では、県民割（地域ブロック割）の終了による県内・域内からの需要低下の影響が大きかった。

前月差は、42都道府県でプラスとなり、鳥取県（前月差+24.7pt）、石川県（同+20.4pt）、岩手県（同+18.6pt）などでプラス幅が大きくなった。

表3 都道府県別宿泊稼働指数・前年差・前月差

	2022年	2023年	2023年			2022年	2023年	2023年			
	8月	7月	8月	前年差		前月差	8月	7月	8月	前年差	前月差
全国	54.8	52.0	61.1	6.3	9.1	三重県	61.4	37.3	48.7	▲12.7	11.4
北海道	65.9	80.1	78.7	12.8	▲1.4	滋賀県	62.7	45.6	52.5	▲10.2	6.9
青森県	77.7	74.9	78.6	0.9	3.7	京都府	25.7	41.7	47.4	21.7	5.7
岩手県	62.7	51.7	70.3	7.6	18.6	大阪府	32.8	47.8	52.8	20.0	5.0
宮城県	69.4	59.3	74.4	5.0	15.1	兵庫県	53.3	40.5	55.9	2.6	15.4
秋田県	74.9	65.9	78.0	3.1	12.1	奈良県	56.1	35.1	40.7	▲15.4	5.6
山形県	68.7	61.9	75.4	6.7	13.5	和歌山県	62.3	53.9	68.3	6.0	14.4
福島県	70.6	45.7	58.9	▲11.7	13.2	鳥取県	61.1	37.4	62.1	1.0	24.7
茨城県	57.6	53.1	58.1	0.5	5.0	島根県	50.8	61.1	70.4	19.6	9.3
栃木県	71.9	50.2	59.7	▲12.2	9.5	岡山県	54.9	54.7	63.5	8.6	8.8
群馬県	77.9	50.1	66.3	▲11.6	16.2	広島県	55.3	40.2	58.5	3.2	18.3
埼玉県	70.6	43.2	48.2	▲22.4	5.0	山口県	68.1	43.6	50.4	▲17.7	6.8
千葉県	55.5	37.1	51.9	▲3.6	14.8	徳島県	75.6	47.5	60.2	▲15.4	12.7
東京都	43.7	57.2	57.0	13.3	▲0.2	香川県	73.9	44.6	63.1	▲10.8	18.5
神奈川県	58.4	40.3	50.6	▲7.8	10.3	愛媛県	64.6	39.7	57.8	▲6.8	18.1
新潟県	55.1	50.1	68.5	13.4	18.4	高知県	83.3	63.3	70.8	▲12.5	7.5
富山県	50.1	42.0	56.2	6.1	14.2	福岡県	46.6	60.8	66.0	19.4	5.2
石川県	45.9	34.7	55.1	9.2	20.4	佐賀県	69.1	55.8	51.1	▲18.0	▲4.7
福井県	75.9	60.6	78.3	2.4	17.7	長崎県	66.2	59.6	58.2	▲8.0	▲1.4
山梨県	77.7	58.3	71.0	▲6.7	12.7	熊本県	62.4	57.6	68.3	5.9	10.7
長野県	72.0	61.3	77.1	5.1	15.8	大分県	66.7	53.5	60.9	▲5.8	7.4
岐阜県	71.2	35.6	52.2	▲19.0	16.6	宮崎県	71.4	52.6	54.6	▲16.8	2.0
静岡県	66.8	51.0	66.4	▲0.4	15.4	鹿児島県	61.4	52.7	51.2	▲10.2	▲1.5
愛知県	41.5	50.7	56.9	15.4	6.2	沖縄県	48.7	56.5	58.5	9.8	2.0

注) 2023年9月5日時点の推計値 資料) 九経調 DATASALAD

表4 都道府県別宿泊稼働指数ランキング

< 指数順・上位 >

	年月	地域	指数	前年差
1.	2023年8月	01 北海道	78.7	12.8
2.	2023年8月	02 青森県	78.6	0.9
3.	2023年8月	18 福井県	78.3	2.4
4.	2023年8月	05 秋田県	78.0	3.1
5.	2023年8月	20 長野県	77.1	5.1
6.	2023年8月	06 山形県	75.4	6.7
7.	2023年8月	04 宮城県	74.4	5.0
8.	2023年8月	19 山梨県	71.0	-6.7
9.	2023年8月	39 高知県	70.8	-12.5
10.	2023年8月	32 島根県	70.4	19.6
11.	2023年8月	03 岩手県	70.3	7.6
12.	2023年8月	15 新潟県	68.5	13.4
13.	2023年8月	30 和歌山県	68.3	6.0
14.	2023年8月	43 熊本県	68.3	5.9
15.	2023年8月	22 静岡県	66.4	-0.4
16.	2023年8月	10 群馬県	66.3	-11.6

< 前年差順・上位 >

	年月	地域	指数	前年差
1.	2023年8月	26 京都府	47.4	21.7
2.	2023年8月	27 大阪府	52.8	20.0
3.	2023年8月	32 島根県	70.4	19.6
4.	2023年8月	40 福岡県	66.0	19.4
5.	2023年8月	23 愛知県	56.9	15.4
6.	2023年8月	15 新潟県	68.5	13.4
7.	2023年8月	13 東京都	57.0	13.3
8.	2023年8月	01 北海道	78.7	12.8
9.	2023年8月	47 沖縄県	58.5	9.8
10.	2023年8月	17 石川県	55.1	9.2
11.	2023年8月	33 岡山県	63.5	8.6
12.	2023年8月	03 岩手県	70.3	7.6
13.	2023年8月	06 山形県	75.4	6.7
14.	2023年8月	16 富山県	56.2	6.1
15.	2023年8月	30 和歌山県	68.3	6.0
16.	2023年8月	43 熊本県	68.3	5.9

< 指数順・下位 >

	年月	地域	指数	前年差
1.	2023年8月	29 奈良県	40.7	-15.4
2.	2023年8月	26 京都府	47.4	21.7
3.	2023年8月	11 埼玉県	48.2	-22.4
4.	2023年8月	24 三重県	48.7	-12.7
5.	2023年8月	35 山口県	50.4	-17.7
6.	2023年8月	14 神奈川県	50.6	-7.8
7.	2023年8月	41 佐賀県	51.1	-18.0
8.	2023年8月	46 鹿児島県	51.2	-10.2
9.	2023年8月	12 千葉県	51.9	-3.6
10.	2023年8月	21 岐阜県	52.2	-19.0
11.	2023年8月	25 滋賀県	52.5	-10.2
12.	2023年8月	27 大阪府	52.8	20.0
13.	2023年8月	45 宮崎県	54.6	-16.8
14.	2023年8月	17 石川県	55.1	9.2
15.	2023年8月	28 兵庫県	55.9	2.6
16.	2023年8月	16 富山県	56.2	6.1

< 前年差順・下位 >

	年月	地域	指数	前年差
1.	2023年8月	11 埼玉県	48.2	-22.4
2.	2023年8月	21 岐阜県	52.2	-19.0
3.	2023年8月	41 佐賀県	51.1	-18.0
4.	2023年8月	35 山口県	50.4	-17.7
5.	2023年8月	45 宮崎県	54.6	-16.8
6.	2023年8月	36 徳島県	60.2	-15.4
7.	2023年8月	29 奈良県	40.7	-15.4
8.	2023年8月	24 三重県	48.7	-12.7
9.	2023年8月	39 高知県	70.8	-12.5
10.	2023年8月	09 栃木県	59.7	-12.2
11.	2023年8月	07 福島県	58.9	-11.7
12.	2023年8月	10 群馬県	66.3	-11.6
13.	2023年8月	37 香川県	63.1	-10.8
14.	2023年8月	25 滋賀県	52.5	-10.2
15.	2023年8月	46 鹿児島県	51.2	-10.2
16.	2023年8月	42 長崎県	58.2	-8.0

注) 2023年9月5日時点の推計値 資料) 九経調 DATASALAD

4. 西九州新幹線開業の影響： 沿線・周辺市町村間では足下低下傾向

昨年9月23日に西九州新幹線の武雄温泉・長崎間が開業となったが、沿線・周辺市町村等における開業前後からの宿泊稼働指数の推移を確認する。沿線自治体（武雄市・嬉野市・大村市・諫早市・長崎市）、観光地となる周辺市町村（雲仙市・島原市など）では、開業後の2022年10月や11月、2023年3月などは旅行需要増加の恩恵を強く受け、指数が大きく上昇した。ただし、足下は旅行支援策（県民割・全国旅行支援）の反動や大都市部への観光人流流入、新規施設開業による客室供給増加等により指数が低下傾向にあり、2023年8月ほぼ全ての自治体で前年を下回っている。

表5 西九州新幹線沿線・周辺市町村等の宿泊稼働指数

	2022年8月	2022年9月	2022年10月	2022年11月	2022年12月	2023年1月	2023年2月
全国	54.8	51.6	65.1	73.7	68.6	50.4	64.1
武雄市	81.1	89.7	94.8	99.4	96.6	85.2	94.1
嬉野市	63.8	69.5	79.3	99.5	95.8	81.3	89.6
大村市	85.7	89.3	87.3	93.1	89.9	79.7	92.5
諫早市	78.8	83.5	82.9	90.3	87.6	74.8	84.0
長崎市	59.4	69.8	76.4	89.6	78.6	55.4	74.1
福岡市	44.6	47.3	56.9	76.6	77.3	62.3	75.5
佐賀市	69.6	70.7	68.4	89.9	75.9	59.5	74.1
佐世保市	73.4	70.1	79.9	89.8	84.9	69.9	83.0
雲仙市	76.6	76.4	81.9	90.9	68.0	36.1	48.6
島原市	84.8	83.6	88.5	90.4	85.4	70.9	76.9

	2023年3月	2023年4月	2023年5月	2023年6月	2023年7月	2023年8月	(前年差)
全国	74.6	61.5	58.6	51.6	52.0	61.1	6.3
武雄市	97.5	93.1	89.3	84.4	78.1	80.1	▲ 1.0
嬉野市	93.8	79.4	82.2	65.3	45.2	48.1	▲ 15.7
大村市	92.4	76.4	80.5	78.9	86.9	76.5	▲ 9.2
諫早市	85.4	75.3	74.8	78.7	90.2	77.6	▲ 1.2
長崎市	82.9	68.6	78.4	60.7	60.8	57.8	▲ 1.6
福岡市	80.9	64.2	61.2	57.8	64.8	68.7	24.1
佐賀市	76.0	66.3	70.0	54.7	55.8	47.4	▲ 22.2
佐世保市	87.5	77.2	79.8	58.3	56.8	55.4	▲ 18.0
雲仙市	77.5	57.7	69.0	47.1	33.7	42.9	▲ 33.7
島原市	85.3	62.9	70.0	58.1	62.6	70.7	▲ 14.1

注) 曜日要因による変動を取り除いた値の期間平均、2023年9月5日時点の推計値

資料) 九経調 DATASALAD

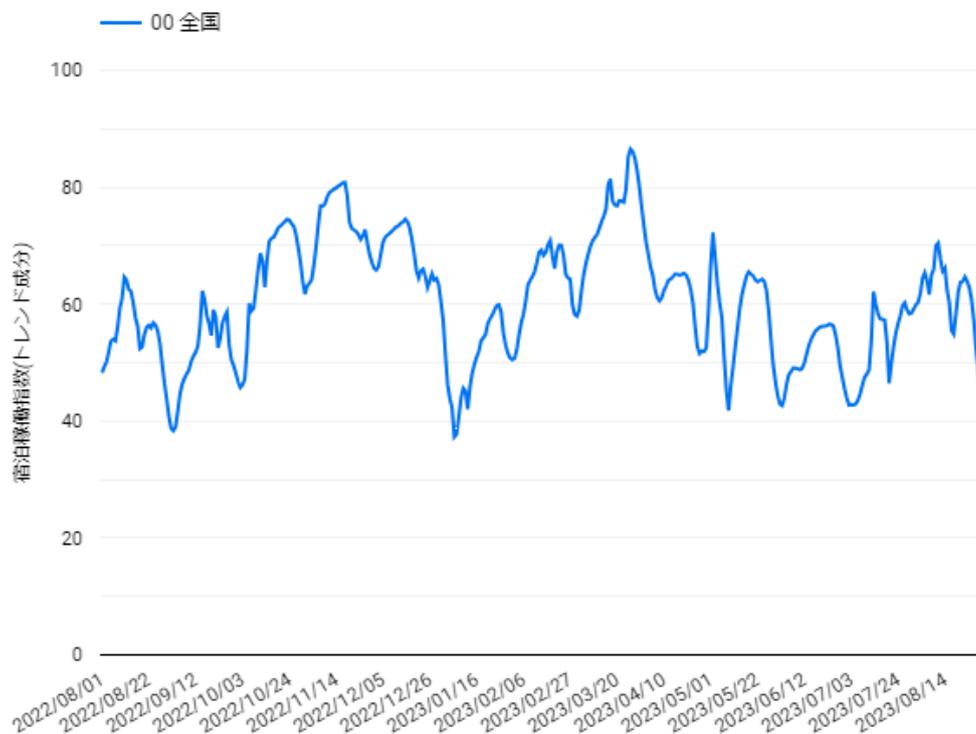
渡辺 隼矢（事業開発部 研究員）

E-mail: jwatanabe@kerc.or.jp

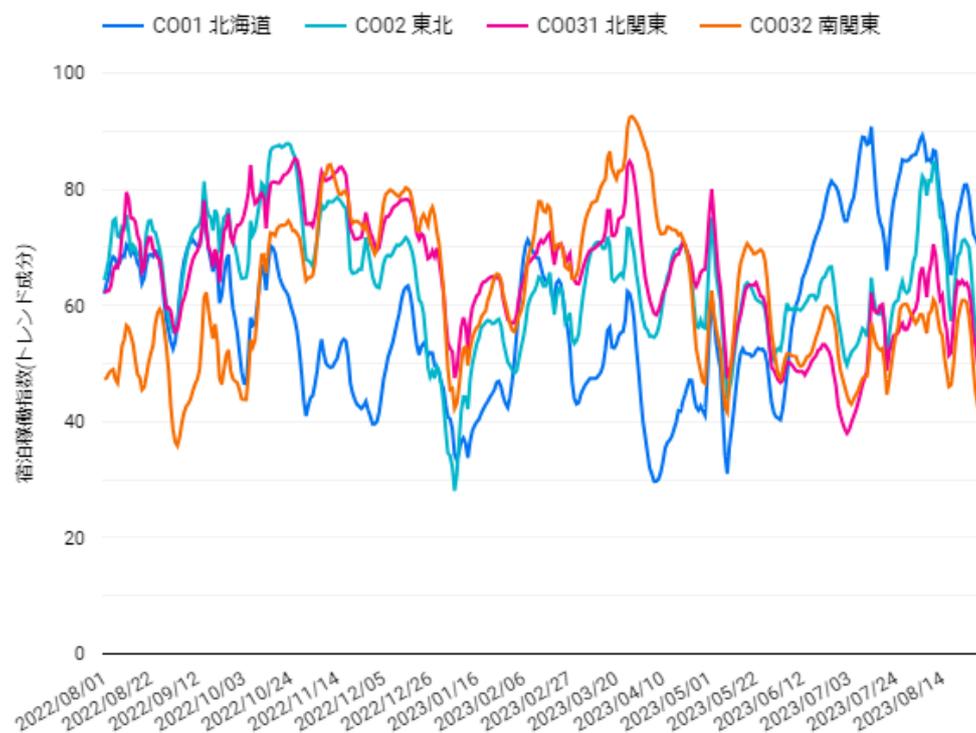
5. 参考：日次推移

図3 全国・地域ブロック別の日次推移（トレンド成分）

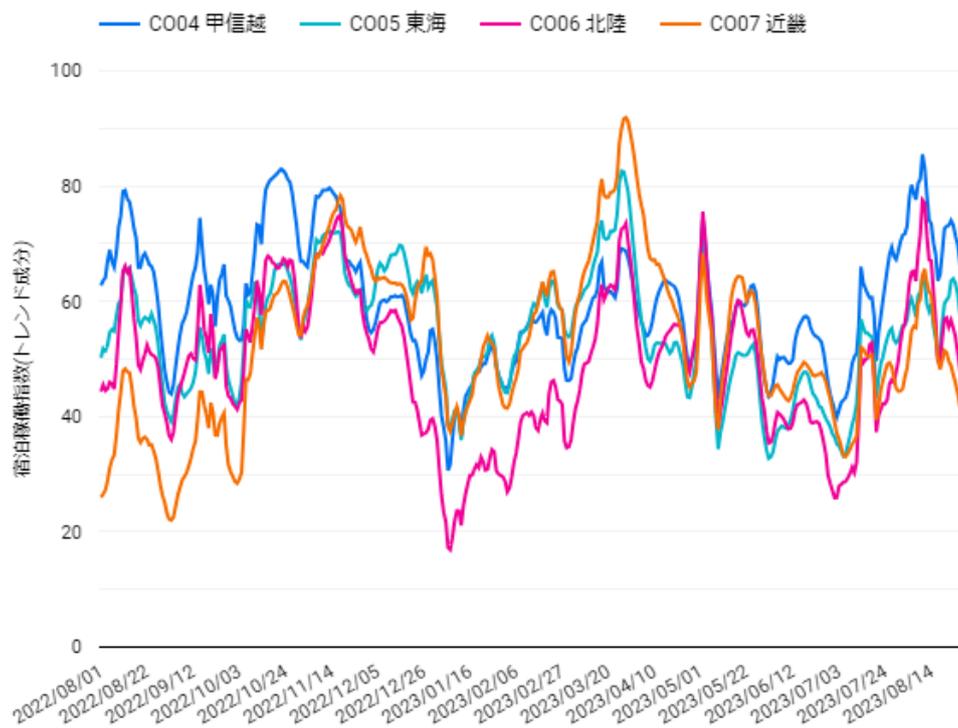
<全国>



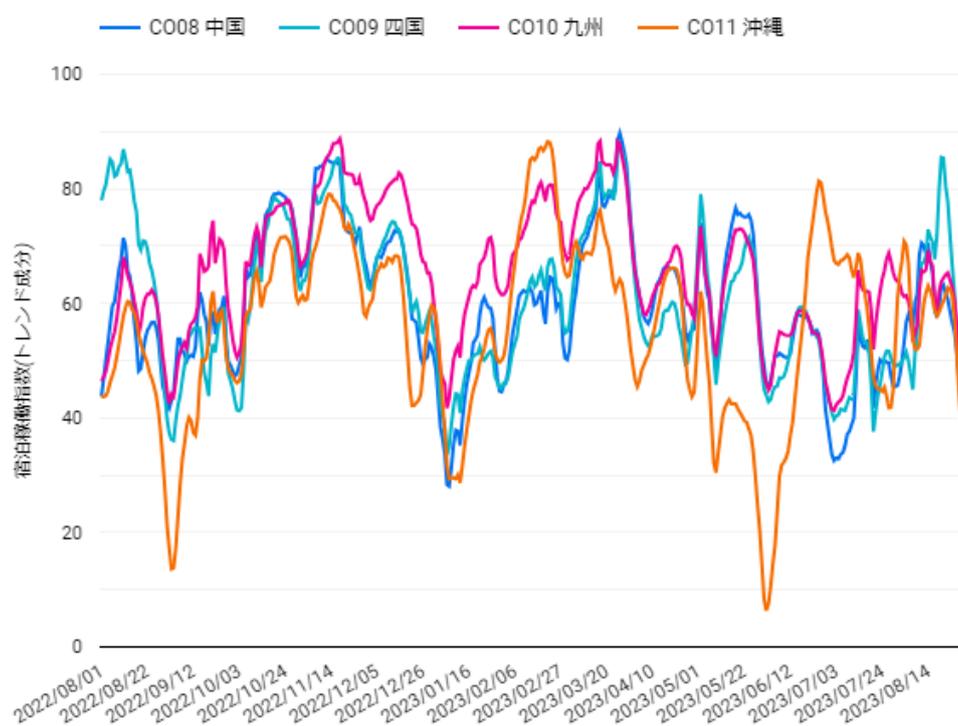
<北海道～南関東>



< 甲信越～近畿 >



< 中国～沖縄 >



注) 2023年9月5日時点の推計値 資料) 九経調 DATASALAD

参考資料

1. 宿泊稼働指数の算出方法

■日次（原数値）

$$100 - \left(\frac{\text{当日の空室数} - \text{当日を含む過去 730 日の最小空室数}}{\text{当日を含む過去 730 日の最大空室数} - \text{当日を含む過去 730 日の最小空室数}} \right) * 100$$

※当該地域において、宿泊施設が過去 365 日以上連続して立地・稼働していると判定される場合に限り算出

※空室情報の取得開始時期が 2017 年 7 月であるため、2018 年 7 月～2019 年 6 月については過去 365 日以上 730 日未満の最大・最小空室数より算出している

■日次（トレンド成分）

「日次（原数値）」を 7 日間周期のデータとみなして要因分解し、曜日要因・イベント要因（イベント・その他の特殊要因）を除いたもの

※「日次（原数値）」を 28 日分以上連続して算出可能に限り算出

■日次（トレンド+イベント成分）

「日次（原数値）」を 7 日間周期のデータとみなして要因分解し、曜日要因を除いたもの

※「日次（原数値）」を 28 日分以上連続して算出可能に限り算出

■月平均指数

「日次（トレンド+イベント成分）」を月ごとに単純平均したもの

※ある日のある地域において空室データが存在しない場合は、当日を含む前 14 日間かつ当日を含む後 14 日間において平均空室数が 0 より大きければ、当該地域において宿泊施設が連続して立地・稼働していると判定

※空室データの取得ができなかった日については、当日を含まない前 4 週間の同曜日の平均値により補間した上で要因分解を行っている

2. 緊急事態宣言発令に伴う対応

■休業施設を除いた特別集計

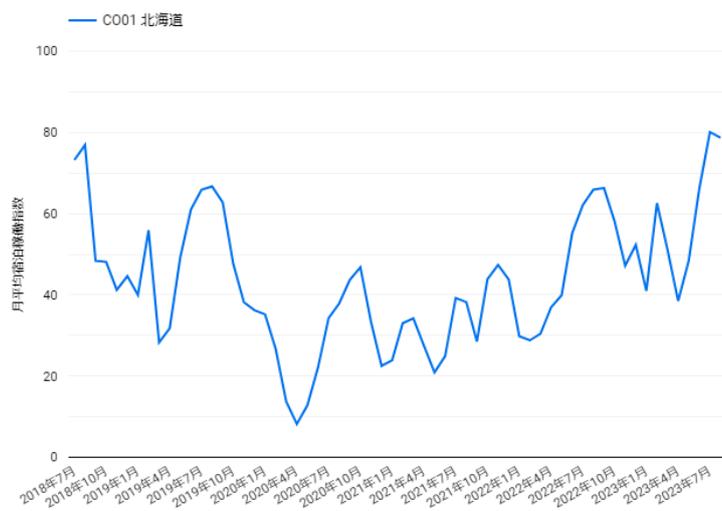
2020 年 4～5 月における緊急事態宣言の発令に伴い宿泊施設の休業がみられた。その影響がある 2020 年 4～6 月の宿泊稼働指数は、休業した宿泊施設を除くための処理を行って算出した。具体的には、2020 年 4 月に 20 日以上かつ 2020 年 5 月に 20 日以上空室が提供されている施設のみを対象に指数を算出した

■特別集計との接続

2021 年 4 月以降に発表している宿泊稼働指数は、全サンプルによる集計（2018 年 7 月～2020 年 3 月および 2020 年 7 月～）と上述の特別集計（2020 年 4 月～2020 年 6 月）を接続したものである。原数値を接続した上で、曜日調整をおこなっている

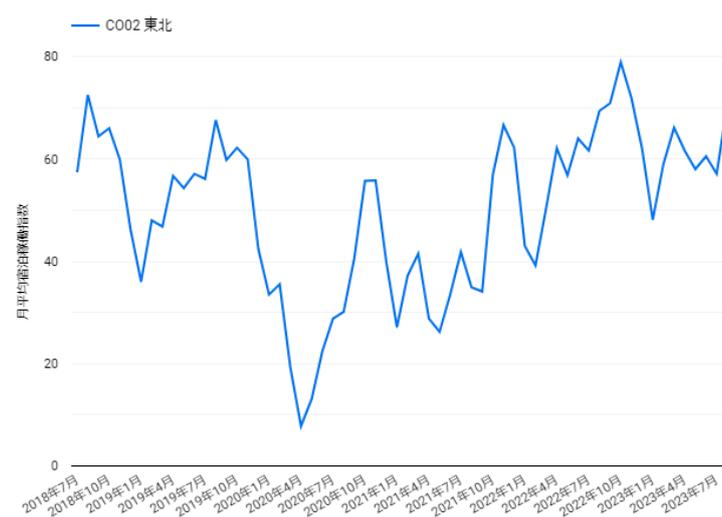
3. 地域ブロック別宿泊稼働指数の推移

<北海道>



年月	地域	指数	前年差
1. 2023年8月	CO01 北海道	78.7	12.8
2. 2023年7月	CO01 北海道	80.1	18.0
3. 2023年6月	CO01 北海道	66.2	11.0
4. 2023年5月	CO01 北海道	48.4	8.5
5. 2023年4月	CO01 北海道	38.5	1.6
6. 2023年3月	CO01 北海道	51.1	20.7
7. 2023年2月	CO01 北海道	62.6	33.8
8. 2023年1月	CO01 北海道	41.0	11.2
9. 2022年12月	CO01 北海道	52.3	8.5
10. 2022年11月	CO01 北海道	47.2	-0.2
11. 2022年10月	CO01 北海道	58.1	14.2
12. 2022年9月	CO01 北海道	66.3	37.8
13. 2022年8月	CO01 北海道	65.9	27.7
14. 2022年7月	CO01 北海道	62.1	22.9
15. 2022年6月	CO01 北海道	55.2	30.3
16. 2022年5月	CO01 北海道	39.9	19.0

<東北>



年月	地域	指数	前年差
1. 2023年8月	CO02 東北	70.6	1.2
2. 2023年7月	CO02 東北	57.1	-4.5
3. 2023年6月	CO02 東北	60.5	-3.5
4. 2023年5月	CO02 東北	58.0	1.2
5. 2023年4月	CO02 東北	61.6	-0.5
6. 2023年3月	CO02 東北	66.1	15.7
7. 2023年2月	CO02 東北	59.0	19.8
8. 2023年1月	CO02 東北	48.1	5.1
9. 2022年12月	CO02 東北	62.0	-0.2
10. 2022年11月	CO02 東北	71.9	5.3
11. 2022年10月	CO02 東北	78.9	22.0
12. 2022年9月	CO02 東北	70.9	36.8
13. 2022年8月	CO02 東北	69.4	34.5
14. 2022年7月	CO02 東北	61.6	19.8
15. 2022年6月	CO02 東北	64.0	30.5
16. 2022年5月	CO02 東北	56.8	30.6

<北関東>



年月	地域	指数	前年差
1. 2023年8月	CO031 北関東	61.0	-7.3
2. 2023年7月	CO031 北関東	51.0	-5.6
3. 2023年6月	CO031 北関東	49.1	-13.3
4. 2023年5月	CO031 北関東	59.8	-3.4
5. 2023年4月	CO031 北関東	64.8	1.3
6. 2023年3月	CO031 北関東	72.9	16.2
7. 2023年2月	CO031 北関東	67.3	24.3
8. 2023年1月	CO031 北関東	59.1	17.7
9. 2022年12月	CO031 北関東	73.0	9.9
10. 2022年11月	CO031 北関東	77.2	13.6
11. 2022年10月	CO031 北関東	80.4	33.8
12. 2022年9月	CO031 北関東	67.5	42.5
13. 2022年8月	CO031 北関東	68.3	39.5
14. 2022年7月	CO031 北関東	56.6	27.9
15. 2022年6月	CO031 北関東	62.4	40.2
16. 2022年5月	CO031 北関東	63.2	38.9

< 南関東 >



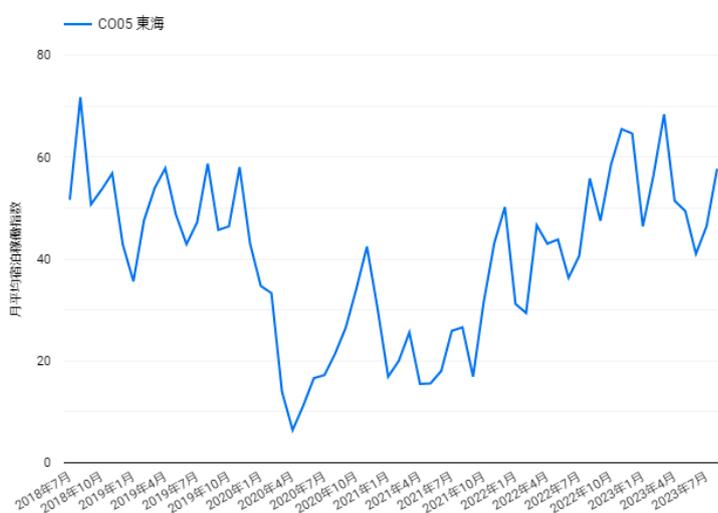
年月	地域	指数	前年差
1. 2023年8月	CO032 南関東	54.5	2.9
2. 2023年7月	CO032 南関東	50.8	4.8
3. 2023年6月	CO032 南関東	53.4	10.1
4. 2023年5月	CO032 南関東	60.0	13.4
5. 2023年4月	CO032 南関東	69.1	18.5
6. 2023年3月	CO032 南関東	81.2	32.2
7. 2023年2月	CO032 南関東	68.5	27.9
8. 2023年1月	CO032 南関東	55.3	22.9
9. 2022年12月	CO032 南関東	76.4	21.8
10. 2022年11月	CO032 南関東	75.4	37.6
11. 2022年10月	CO032 南関東	64.9	39.1
12. 2022年9月	CO032 南関東	47.8	30.0
13. 2022年8月	CO032 南関東	51.6	25.3
14. 2022年7月	CO032 南関東	46.0	17.2
15. 2022年6月	CO032 南関東	43.3	25.2
16. 2022年5月	CO032 南関東	46.6	31.4

< 甲信越 >



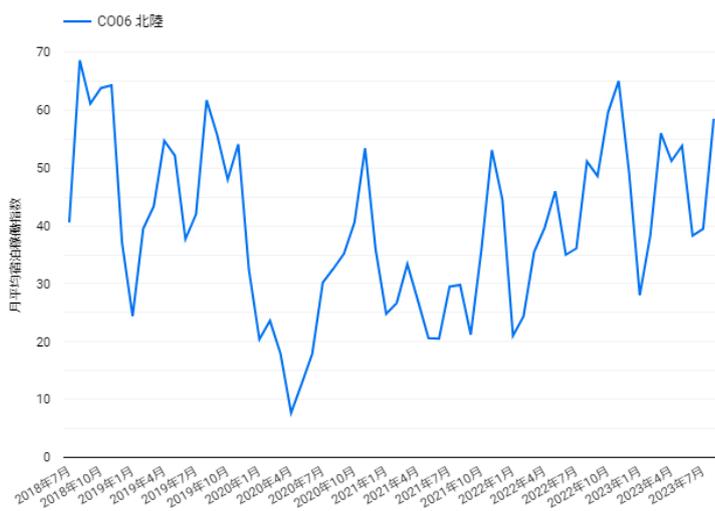
年月	地域	指数	前年差
1. 2023年8月	CO04 甲信越	72.1	5.1
2. 2023年7月	CO04 甲信越	55.6	4.0
3. 2023年6月	CO04 甲信越	51.3	3.0
4. 2023年5月	CO04 甲信越	57.4	10.7
5. 2023年4月	CO04 甲信越	57.3	18.5
6. 2023年3月	CO04 甲信越	59.7	23.9
7. 2023年2月	CO04 甲信越	53.8	23.4
8. 2023年1月	CO04 甲信越	44.2	11.6
9. 2022年12月	CO04 甲信越	55.8	6.8
10. 2022年11月	CO04 甲信越	71.4	13.2
11. 2022年10月	CO04 甲信越	71.9	19.7
12. 2022年9月	CO04 甲信越	59.5	24.6
13. 2022年8月	CO04 甲信越	67.0	25.8
14. 2022年7月	CO04 甲信越	51.6	12.9
15. 2022年6月	CO04 甲信越	48.3	19.4
16. 2022年5月	CO04 甲信越	46.7	18.1

< 東海 >



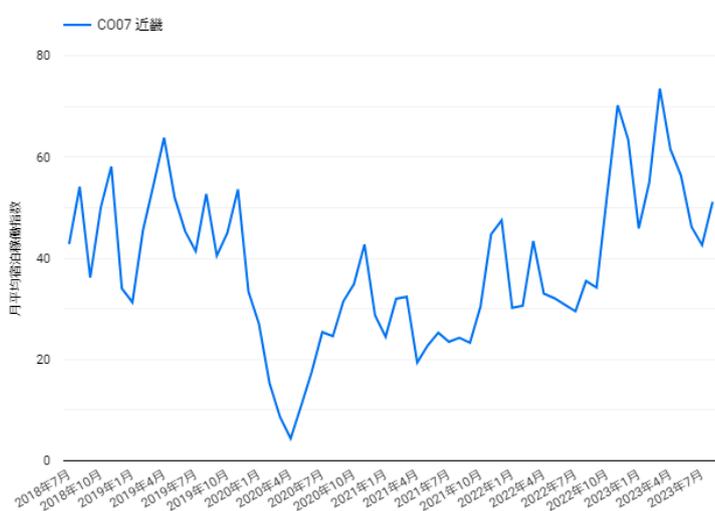
年月	地域	指数	前年差
1. 2023年8月	CO05 東海	57.7	1.9
2. 2023年7月	CO05 東海	46.4	5.8
3. 2023年6月	CO05 東海	41.0	4.7
4. 2023年5月	CO05 東海	49.4	5.6
5. 2023年4月	CO05 東海	51.4	8.4
6. 2023年3月	CO05 東海	68.4	21.8
7. 2023年2月	CO05 東海	56.4	27.0
8. 2023年1月	CO05 東海	46.4	15.2
9. 2022年12月	CO05 東海	64.6	14.4
10. 2022年11月	CO05 東海	65.5	22.4
11. 2022年10月	CO05 東海	58.5	27.0
12. 2022年9月	CO05 東海	47.5	30.6
13. 2022年8月	CO05 東海	55.8	29.2
14. 2022年7月	CO05 東海	40.6	14.7
15. 2022年6月	CO05 東海	36.3	18.3
16. 2022年5月	CO05 東海	43.8	28.2

<北陸>



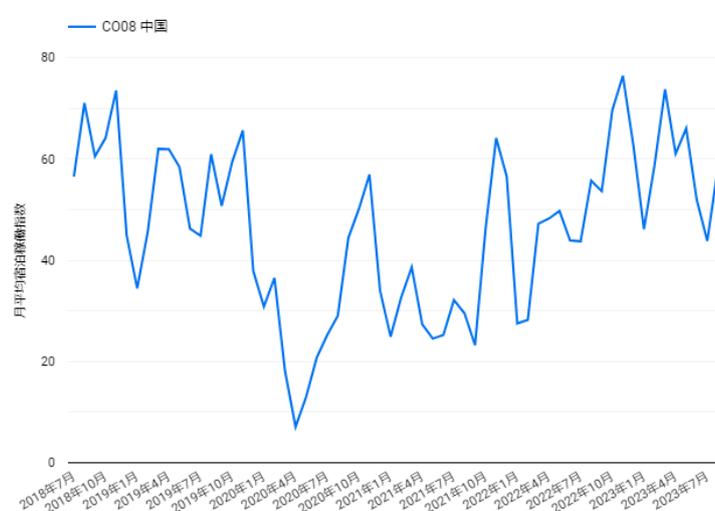
年月	地域	指数	前年差
1. 2023年8月	C006 北陸	58.5	7.4
2. 2023年7月	C006 北陸	39.5	3.4
3. 2023年6月	C006 北陸	38.3	3.3
4. 2023年5月	C006 北陸	53.8	7.8
5. 2023年4月	C006 北陸	51.2	11.5
6. 2023年3月	C006 北陸	56.0	20.5
7. 2023年2月	C006 北陸	38.4	14.0
8. 2023年1月	C006 北陸	28.0	7.0
9. 2022年12月	C006 北陸	49.0	4.5
10. 2022年11月	C006 北陸	65.0	11.9
11. 2022年10月	C006 北陸	59.6	23.9
12. 2022年9月	C006 北陸	48.6	27.4
13. 2022年8月	C006 北陸	51.1	21.3
14. 2022年7月	C006 北陸	36.1	6.6
15. 2022年6月	C006 北陸	35.0	14.5
16. 2022年5月	C006 北陸	46.0	25.4

<近畿>



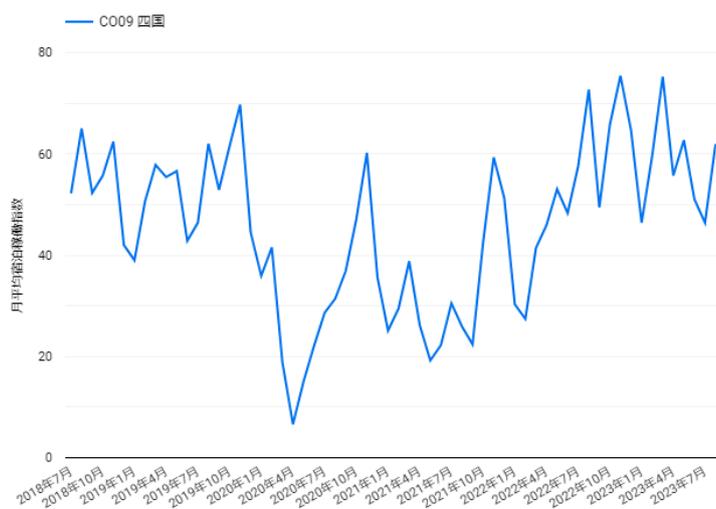
年月	地域	指数	前年差
1. 2023年8月	C007 近畿	51.1	15.6
2. 2023年7月	C007 近畿	42.6	13.1
3. 2023年6月	C007 近畿	46.2	15.4
4. 2023年5月	C007 近畿	56.3	24.2
5. 2023年4月	C007 近畿	61.5	28.5
6. 2023年3月	C007 近畿	73.5	30.1
7. 2023年2月	C007 近畿	55.0	24.4
8. 2023年1月	C007 近畿	45.9	15.7
9. 2022年12月	C007 近畿	63.4	15.9
10. 2022年11月	C007 近畿	70.2	25.5
11. 2022年10月	C007 近畿	52.5	22.0
12. 2022年9月	C007 近畿	34.2	10.9
13. 2022年8月	C007 近畿	35.5	11.2
14. 2022年7月	C007 近畿	29.5	6.0
15. 2022年6月	C007 近畿	30.8	5.5
16. 2022年5月	C007 近畿	32.1	9.3

<中国>



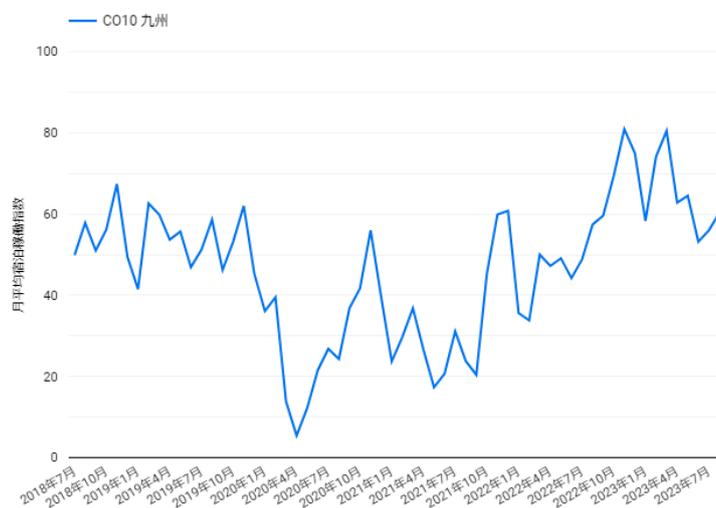
年月	地域	指数	前年差
1. 2023年8月	C008 中国	58.2	2.5
2. 2023年7月	C008 中国	43.8	0.1
3. 2023年6月	C008 中国	51.9	8.0
4. 2023年5月	C008 中国	66.0	16.3
5. 2023年4月	C008 中国	61.0	12.8
6. 2023年3月	C008 中国	73.7	26.5
7. 2023年2月	C008 中国	58.7	30.5
8. 2023年1月	C008 中国	46.1	18.6
9. 2022年12月	C008 中国	62.6	6.1
10. 2022年11月	C008 中国	76.4	12.3
11. 2022年10月	C008 中国	69.6	23.4
12. 2022年9月	C008 中国	53.6	30.4
13. 2022年8月	C008 中国	55.7	26.2
14. 2022年7月	C008 中国	43.7	11.6
15. 2022年6月	C008 中国	43.9	18.7
16. 2022年5月	C008 中国	49.7	25.2

< 四国 >



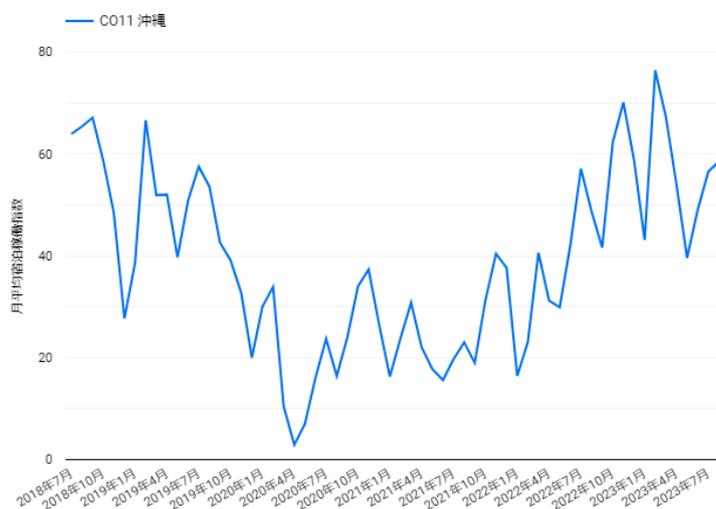
年月	地域	指数	前年差
1. 2023年8月	C009 四国	61.9	-10.8
2. 2023年7月	C009 四国	46.4	-11.2
3. 2023年6月	C009 四国	51.0	2.7
4. 2023年5月	C009 四国	62.7	9.7
5. 2023年4月	C009 四国	55.7	9.8
6. 2023年3月	C009 四国	75.2	33.8
7. 2023年2月	C009 四国	59.6	32.2
8. 2023年1月	C009 四国	46.4	16.1
9. 2022年12月	C009 四国	64.6	13.3
10. 2022年11月	C009 四国	75.4	16.1
11. 2022年10月	C009 四国	65.8	23.3
12. 2022年9月	C009 四国	49.4	27.0
13. 2022年8月	C009 四国	72.7	46.8
14. 2022年7月	C009 四国	57.6	27.1
15. 2022年6月	C009 四国	48.3	26.1
16. 2022年5月	C009 四国	53.0	33.8

< 九州 >



年月	地域	指数	前年差
1. 2023年8月	C010 九州	60.3	2.9
2. 2023年7月	C010 九州	56.0	7.2
3. 2023年6月	C010 九州	53.2	9.0
4. 2023年5月	C010 九州	64.5	15.4
5. 2023年4月	C010 九州	62.8	15.6
6. 2023年3月	C010 九州	80.5	30.5
7. 2023年2月	C010 九州	74.1	40.3
8. 2023年1月	C010 九州	58.3	22.7
9. 2022年12月	C010 九州	75.0	14.2
10. 2022年11月	C010 九州	80.9	21.0
11. 2022年10月	C010 九州	69.4	24.1
12. 2022年9月	C010 九州	59.6	39.2
13. 2022年8月	C010 九州	57.4	33.6
14. 2022年7月	C010 九州	48.8	17.7
15. 2022年6月	C010 九州	44.2	23.5
16. 2022年5月	C010 九州	49.1	31.8

< 沖縄 >



年月	地域	指数	前年差
1. 2023年8月	C011 沖縄	58.5	9.8
2. 2023年7月	C011 沖縄	56.5	-0.6
3. 2023年6月	C011 沖縄	49.0	7.0
4. 2023年5月	C011 沖縄	39.6	9.7
5. 2023年4月	C011 沖縄	54.0	22.8
6. 2023年3月	C011 沖縄	67.3	26.7
7. 2023年2月	C011 沖縄	76.4	53.3
8. 2023年1月	C011 沖縄	43.1	26.7
9. 2022年12月	C011 沖縄	58.8	21.2
10. 2022年11月	C011 沖縄	70.1	29.7
11. 2022年10月	C011 沖縄	62.3	31.1
12. 2022年9月	C011 沖縄	41.6	22.6
13. 2022年8月	C011 沖縄	48.7	25.7
14. 2022年7月	C011 沖縄	57.1	37.4
15. 2022年6月	C011 沖縄	42.0	26.4
16. 2022年5月	C011 沖縄	29.9	12.1